

# 留学だより vol.2

こんにちは！アデレード留学中の北川です。二回目の留学だよりをお届けします！  
第一回の留学だよりでは留学に来るまでの経緯やアデレードでの最初の1か月について紹介しました。そこで今回は約2か月間のターム留学を終えようとしている今、学校生活や日々の暮らし、この留学で感じたことや学んだことを書いていきたいと思います。

～アデレード～

前回の留学だよりではあまり触れられなかったアデレードの街について、今回は紹介したいと思います。  
アデレードはオーストラリア南部、南オーストラリア州の州都です。先日は、アデレードで人気のある「グレネルグ・ビーチ」に行きました。海が近く、豊かな自然に囲まれていることもアデレードの魅力の一つです。

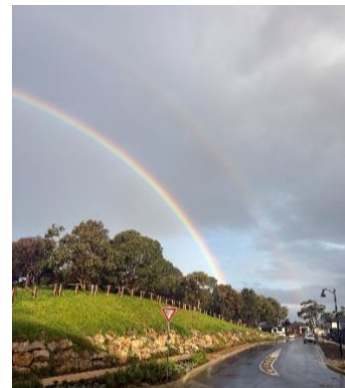


南半球に位置するため現在のアデレードは冬です。最近は雨の日が多く、気温も11°C前後と寒くなってきました。しかし、雨が止んだ後には青空が広がることも多く、美しい虹を見かける機会がたくさんあります。



日本にいた頃よりも頻繁に虹を見かけているように感じます。時には大きな二重の虹が現れることもあります！  
←雨上がりのグレネルグ・ビーチで見た虹は特に印象に残っています。

雨が少し降ってすぐ晴れたときは大体虹を見つけることができます。そういったときに虹を探すのも楽しみです。広い空と豊かな自然に囲まれたアデレードならではの景色だと感じています。



また、買い物をする際、東京では必要な会話だけで終わることが多いですが、こちらではレジで店員さんが自然に話しかけてくれます。最初は戸惑うこともありましたが、こうした何気ない会話から人の温かさを感じることができ、今ではそうしたやり取りも楽しみの一つになっています。

アデレードは「教会の街」や「芸術と文化の都市」とも呼ばれており、市内には19世紀

に建てられた教会や歴史的建造物が多いことで有名です。この間初めてアデレードの教会に行きました。大きなステンドグラスや歴史を感じる建物が印象的で、「教会の街」と呼ばれる理由を実際に感じる事ができました。シドニーやメルボルンに比べると人口は少ないものの、落ち着いた雰囲気と暮らしやすさが魅力の都市です。2か月間生活してみて、自然の豊かさや人々の温かさに触れ、アデレードにまた来てよかったと思いました。



先ほど書いたように、私が今いる6月のアデレードの平均気温は11°Cほどです。しかし、風が強い日や雨の日も多く、体感温度はさらに低く感じます。

エージェントの方によるとオーストラリアの家は夏の暑さに対応することを重視して造られているため、冬は家の中でも寒く感じる事が多いそうです。去年私が語学研修で来たとき、雨は少なかったように感じたのですが今年アデレードに行く3年生のみなさん、防寒対策をしておいて損はないと思います！

#### ～学校～

私はターム留学でターム2の期間が始まる前日にアデレードに到着し、ターム2が終わった次の日に帰るので、留学生活の大半を学校で過ごしました。教科は英語、数学、理科、歴史に加え、選択授業として美術と家庭科を受けています。

最初は友達の後を追って教室移動するだけで混乱していましたが、慣れてきて、ちゃんと授業を受けることができるようになりました。私の学校は1クラス20人に満たない少人数クラスです。分からないところがあると、先生だけでなく友達も一緒になって教えてくれる温かい雰囲気があります。

また日本で受ける授業よりも圧倒的に教科数が少なく、日本で既習した單元もあるので友達が困っていたら助けたり、逆にオーストラリアの歴史などは教えてもらったりしています。数学では日本で学んだ内容も多く、最近はsin、cos、tanを扱っています。そのため、友達に解き方を教えることもあります。

家庭科ではラーメンやタルト、クッキーなどの調理実習を主にしています。80分あるので冷やしたり、焼いたりする時間を十分にとることができ、友達と協力しながら毎回作っています。



日本ではあらかじめ決められたレシピで作ることが多いですが、こちらでは自分たちでレシピを探し、材料を先生に用意してもらって調理することもあります。そしてそれらを先生たちが試食して評価する授業もあり、新鮮で楽しかったです。



1クラスの人数が少ないので、始めは友達ができるのか不安に思っていました。しかし、選択授業で同じクラスになった子や通学バスが同じ子など、たくさんの生徒が気軽に話しかけてくれました。その優しさに助けられてこの2か月を楽しく過ごすことができました。



また、去年の語学研修でのバディと再会でき、その友達も私のことを覚えていてくれました。学年が違っても休み時間に話しかけてくれたり、一緒に遊びに行こうと誘ってくれたりして、とても嬉しかったです。

### ～ホストファミリー～

ホストファミリーも親戚の方たちもずっと優しく、いつも気遣ってくれます。この2か月間、学校以外の時間を一緒に過ごした大切な存在です。

出掛ける予定の日に雨が降ると、私以上に残念がられることもありました。晴れているときには

Whispering Wall (ささやきの壁) やビーチなどに行きま



した！ささやきの壁の名前

通り、ダムの壁の端でささ

やいた言葉が、ダムの壁をつたって向こう側の端でもはっきりと聞き取る事が出来ました。



親戚の方たちも毎週会っていて知っている日本語を話してくれたり、どういう意味？と聞かれて教えてあげたりすることを通して仲良くなることができたと思っています。

この2か月間、本当の家族の一員のように接してもらったので、別れが近づいていることがとても寂しいです。

### ～ターム～

去年の語学研修は2週間だったため、毎日が新しいことや日本との違いの連続で、気づけばあっという間に帰国の日を迎えていました。一方、今回のターム留学では約2か月間同じ学校に通い続けたことで、学校生活や現地での暮らしをより深く経験することができました。去年はこの学校に小石川生20人ほどで行ったのですがすぐそばに日本の友達がいいましたが、今回日本人が誰一人おらず、学校内で日本語でコミュニケーションをとることが全くありませんでした。

最初の頃は授業についていくことや英語での会話に精一杯でしたが、少しずつ学校や生活



にも慣れ、友達との時間を楽しめるようになりました。2週間の語学研修では見えなかった日常の部分まで経験できたことが、今回の留学の大きな学びだったと思います。

また、留学前は英語を間違えることを怖いと感じていました。文法や語順を間違えたらどうしようと考え、完璧な英語を話そうとするあまり、自分から話すことをためらっていたのだと思います。しかし、実際には完璧な英語よりも、自分から伝えようとするの方が大切だと改めて実感しました。この経験は、英語力だけでなく自分自身の成長にもつながったと思います。帰国するときは迷わずに帰ることが目標です。



楽しいことばかりではなく、うまく話せずに落ち込む日や日本が恋しくなる日もありました。それでも、多くの人に支えられながら過ごしたこの2か月は、私にとってかけがえのない時間になりました。

語学研修で「もう一度アデレードに來たい」と思った気持ちを実現できて本当に良かったです。

いつも知っている人に囲まれながら過ごしてきた私が、一人で飛行機に乗り、一人で学校に通い、2か月間異国で暮らすことになるとは、去年の今頃は想像もしていませんでした。この経験を通して自分自身成長できたと思うので、これからの学校生活や将来にも生かしていきたいと思います。

私のターム留学の話を最後まで読んでいただきありがとうございました！

アデレードをひかえている3年生のみなさんあつという間の2週間になると思うのでたくさん食べてたくさん写真撮って思い出作って楽しんでください！

冬が好きな私はこのままアデレードにいたいですが、そろそろ帰国なので日本のみなさん

See you soon!